

令和6年度近畿建設リサイクル表彰

【再使用・再生利用部門】

奨励賞

たいせい・ ふじピーエス・えむえむびー いこうしゅけんせつこうじきょうどうきぎょうたい きれうりわりばしだいきぼこうしんこうじ
大成・富士ピーエス・MMB異工種建設工事共同企業体 喜連瓜破橋大規模更新工事

カーボンネガティブを可能にするカーボンリサイクル・コンクリートの道路インフラへの初の適用

①二酸化炭素排出量収支がマイナスとなるカーボンリサイクル・コンクリートの適用

- ・二酸化炭素排出量収支が -20kg/m^3 となるカーボンネガティブのコンクリートを、**現場打ちコンクリートとして道路インフラに適用**(5.2m^3 、延長10m)した国内初の事例。
- ・資源循環の観点から、カーボンリサイクル・コンクリートを 1m^3 使用した場合、**通常コンクリートより多くの産業副産物を使用**している(A<B)。

⇒A:通常コンクリート中の産業廃棄物利用量:0.159トン

B:カーボンリサイクル・コンクリート中の高炉スラグ使用量:0.263トン

■:通常のコンクリート(水と化学混和剤を除く)

セメント

骨材

■:従来の低炭素型コンクリート(〃)

セメント

高炉スラグ

骨材

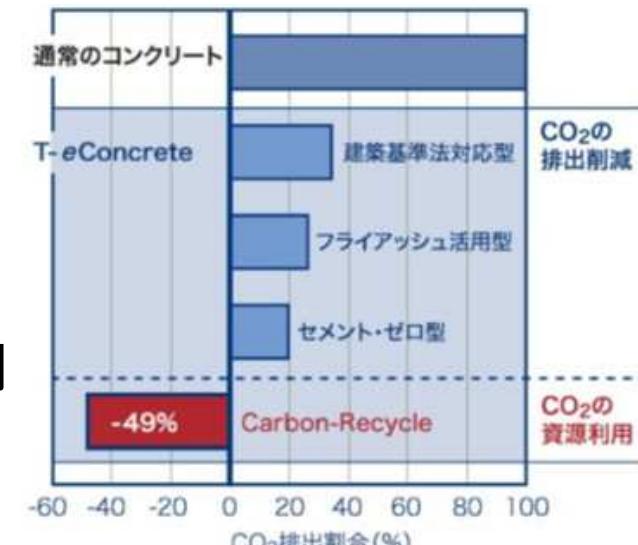
■:カーボンリサイクルコンクリート(〃)

高炉スラグ+刺激材

炭カル

骨材

コンクリートイメージ



コンクリートの二酸化炭素排出割合